

多摩を創ろう

当法人は設立10周年目にあたる平成24年に、東京都より公益社団法人認定を受け、「公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩」として新たにスタートしました。これまで以上に公益性を重視し、産官学が広く協働し、多摩地域のまちづくりや人材育成のための事業を創造していきます。21世紀の連携組織として、魅力ある地域社会を実現し、「自然と環境に優しい国際学園都市多摩」の構築を目指していきます。

事業概要

産官学の連携を通して、教育を柱に地域の活性化、発展と社会貢献に寄与していきます。



会長挨拶

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩は、任意団体の時から数えて、今年で14年になります。他に類を見ない産官学連携の機関で、この活動を通して人材を育成し教育力の向上に寄与し、また環境と福祉事業などに目覚ましい成果をあげてきました。大学間のみならず、企業や地方行政、NPO法人などとも連携しながら多摩地域の活性化を目指している、全国に50ほどある大学のコンソーシアム事業のなかでも際立って大規模でかつ、ユニークな機関として育っております。



会長 小川哲生
明星学苑 副理事長

ロゴマークについて

組織の柱である「学術・文化・産業」をシンプルに3つの円で象徴し、未来に向けて常に動いている姿勢を円の大小で強調。円の連なりは各種団体との「連携と協働」を大切にしながら発展していく組織であることを表現しています。



network TAMA

平成28年度 加盟組織一覧

平成28年4月現在

大学 | 28大学

正会員

桜美林大学
大妻女子大学
恵泉学園大学
実践女子大学
実践女子大学短期大学部
首都大学東京
白梅学園大学
白梅学園短期大学
創価大学
創価女子短期大学
拓殖大学
多摩大学
玉川大学
中央大学
帝京大学
帝京大学短期大学
デジタルハリウッド大学
電気通信大学
東京工科大学
法政大学
明星大学

協賛会員

亜細亜大学
亜細亜大学短期大学部
嘉悦大学
白百合女子大学
東京経済大学
日本獣医生命科学大学
和光大学

行政 | 8市

小金井市
立川市
多摩市
八王子市
羽村市
日野市
福生市
町田市

企業 | 20企業

正会員

(株) いなげや
(株) 学生情報センター
京西テクノス (株)
京王電鉄 (株)
コカ・コーライーストジャパン (株)
(株) 立飛ホールディングス
多摩信用金庫
(株) ナジック・アイ・サポート
日本たばこ産業 (株) 立川支店
東日本旅客鉄道 (株) 八王子支社
(株) ベネッセコーポレーション
(株) 読売新聞東京本社

協賛会員

(株) オープンループ
(株) 岡村製作所 立川支店
(株) 環境総合研究会
(株) クオリティ・オブ・ライフ
清水建設 (株) 東京支店西東京営業所
日本電気 (株) 西東京支社
(株) ラティオインターナショナル

特別会員

多摩都市モノレール (株)

団体 | 9団体(個人含む)

正会員

(一財) 公園財団
国営昭和記念公園管理センター
NPO法人 セルフ・リライアンス・パートナーズ
(公財) 大学セミナーハウス
(公財) 東京市町村自治調査会
(独) 都市再生機構
東日本賃貸住宅本部 (UR 都市機構)

協賛会員

(公財) 東京都中小企業振興公社
NPO法人日本ITイノベーション協会
多摩ニュータウン学会

個人会員1

network TAMA

多摩からはじめよう 未来につなげるまちづくり

公益社団法人

学術・文化・産業ネットワーク多摩 事務局

〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1

明星大学20号館601

TEL 042-591-8540

FAX 042-591-8831

E-mail office@nw-tama.jp

URL http://nw-tama.jp/

ネットワーク多摩事業一覧

第I事業 大学間連携

多摩地域の大学を核とした産官学のつながりを生み出す

加盟28大学それぞれの強みを活かした連携で、広く質の高い選択肢を提供し、多摩地域の教育を向上させていきます。

多摩未来奨学金

多摩地域を活性化する人材を育てる「プロジェクト参加型」の奨学金制度です

多摩未来奨学金は多摩の企業・団体から拠出された資金を原資として、多摩地域の各大学・短大から選抜された学生に30万円を給付するプロジェクト参加型の奨学金です。学生は多摩未来奨学生として「多摩未来奨学生プロジェクト」に参加し、大学教員および専門家の指導の下、地域活動や企業訪問を通しグループワークを行い、多摩地域への提言を行います。プロジェクトを通し、多摩地域の学生が地域と地元企業に対する理解を深め、多摩地域を活性化する人材を育てるプロジェクトです。



多摩未来奨学金2期生提言発表会(平成27年12月、創価大学)



まちづくりコンペティション2015発表

多摩の学生まちづくりコンペティション

フィールドワークから生まれたアイデアで多摩をつくる多摩地域の「まち」をフィールド調査して、若者の視点や感性を活かした多摩地域の魅力を発信する企画や、今までに無い多摩地域の新しい価値を創造して、多摩地域が抱える課題を克服することで未来に活力を与えることができる「実践的」試みや提案を募集。多摩の持つ地域資源を発見・活用して、多摩の未来につなげます。



まちづくりコンペティション2015の様子

学生生活支援

学生に暮らしの情報を発信、安全と安心を提供

初めて一人暮らしをする学生や保護者の方の不安を取り除くため、住居の紹介、地域情報の発信を行います。特定物件の仲介手数料の割引や多摩地域の賃貸情報を提供するほか、留学生と地域の交流イベントの紹介もします。

単位互換制度

読売新聞提携講座

前期(明星大学)：「現役記者が教える英字新聞のツボ」
後期(中央大学)：「現代社会と新聞」



就職支援

学生インターンシップ

大学生がインターンシップに参加することは、職業適性や将来設計について早期に考える機会となり、主体的な職業選択や職業意識の醸成が図られる有益な取組であるため、学生のインターンシップをお手伝いします。また、さらに踏み込んだ就業体験ができる有償型インターンシップ「ワークプレイズメント」の紹介もしています。

多摩未来創造フォーラム

多摩地域大学理事長・学長会議
産官学の各界トップが多摩の未来について議論

平成27年秋、産官学の各界トップが多摩地域の現状と将来の課題を持ち寄り、「グローバル時代における多摩地域の将来」をテーマに議論を展開。「多摩地域の大学のグローバル戦略」、「トップが望むキャリアデザイン」、「人口減少時代を乗り切る広域連携」の3つの分科会では、合計17名の有識者が登壇。今回の開催は、平成29年秋の予定です。



第II事業 地域人材育成と教育力アップ

多摩の魅力を知り、地域づくりに活かす

これからの地域づくり、まちづくりを担う大学生を中心として地域活性化の事業を進めていきます。

多摩・武蔵野検定

「多摩大好き！」を育てる検定

地元や近隣の町を知る事は愛着あるまちづくりの第一歩。多摩・武蔵野検定は多摩地域の自然・歴史・文化などを学ぶ事で、多摩の魅力を再発見し、合格者の活躍の場をひろげる事を目的とした検定です。

テキストは、2016年6月からダイヤモンド社HPの電子版で販売しています。



多摩・武蔵野検定 会場試験



多摩めぐり30

多摩めぐり30

めぐって楽しむ多摩の魅力

「タマケン公式テキスト」をはじめ、他の本や資料でも実感できないことを現場に向いて体感するガイドツアー「多摩めぐり30」を開催しています。現場で専門家やガイドの合格者の解説を聞いて、理解を深める機会と同時に市民交流にもなっています。



これから訪ねるのは…
 狛江市……2016年7月17日(日)
 調布市……2016年9月18日(日)
 小平市……2016年10月22日(土)
 東大和市…2016年11月
 檜原村、奥多摩町…2017年

多摩地域行政連携事業 政策スクール

行政の職員と地域振興を勉強する学生がともにまちづくりを考える「政策スクール」を開講。単一行政では解決できない課題を多摩30市町村が連携して活性化に繋げる政策提言を発表します。

第III事業 国際交流

留学生のニーズをつかみ、国際学園都市圏多摩の構築を目指す

留学生の学びやすい環境づくりや将来計画の実現をお手伝いしていきます。

キャンパスTAMAプロジェクト

各大学が連携し、留学生にとって魅力ある大学の在り方を探る

加盟機関の要望を最大限に活かすため、国際化する大学経営における課題を「情報共有、共通認識、共同施策」するために、留学生の入試、単位互換、住居・生活支援などのテーマで意見交換などを行う「(仮称)国際留学センターネットワーク」を設立し、共同での施策に活用していきます。

留学生支援

留学生の学びをサポート

国際学園都市づくりを長期的視野において、留学生の滞りやすさおよび外国人研究者の確保、留学生の生活支援、就職支援や留学生交流の実現を図ります。

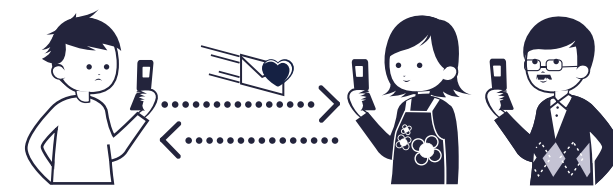
第IV事業 環境・防災・福祉貢献

自然豊かな住みよいまち多摩を目指して

多摩の特色である自然を生かし、環境と福祉に優しく、災害に強いまちづくりを支援します。

安否確認システム

加盟大学の危機管理体制向上のため、大災害の際に教職員の手を介することなく学生の安否が確認でき、保護者にも安否情報が伝わる事が可能な、携帯メールを利用したシステムの調査研究を開始しています。



広報事業

大学、企業、行政からの情報を広く加盟・連携機関へ発信していきます。

